

令和5年度 研修講座ライブラリー

長野県生涯学習推進センター



YouTubeでの視聴が可能です。※要申込

DVDでの受講をご希望の方はご相談ください。
※DVD貸出は無料ですが、返却時の送料のみご負担ください。

ホームページ
「研修講座貸出しページ」はこちら→



貸出番号	講座名	おすすめのポイント
R5-1	<p>(持続可能な共生社会推進研修)</p> <p>学校の中の発達障害</p> <p>信州大学医学部 こどものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫</p>	<p>学校は、集団活動が多く、そのためルールもいろいろと設定されています。その中で発達の特性を理解し、個別にサポートしていくことは、決して簡単ではありません。この講座では、保護者と教職員が協力して「発達障害の子の学校生活をサポートするコツ」を信州大学医学部の本田秀夫先生の講義から学びます。</p>
R5-2	<p>(社会教育を生かした地域づくり推進研修)</p> <p>社会教育がつなぐ未来を考える講座</p> <p>社会教育・公民館の最先端を学ぶ！</p> <p>東京大学 大学院教育学研究科 教授 牧野 篤</p>	<p>社会基盤の再生に向けた今後の社会教育の在り方、そして従来の枠組みを超えた多様な機関や団体へどう社会教育を広げていくかを考えます。</p> <p>第1部では、社会教育の役割や成果を改めて整理し、社会教育の「力」とは何かを考えます。</p> <p>第2部では、中教審等の最先端の議論を学び、社会教育が拓く「学び、つながり、自ら動く共生社会」について考えます。</p>
R5-3	<p>(社会教育を生かした地域づくり推進研修)</p> <p>社会教育士・社会教育委員等研修</p> <p>社会教育と公民館の歴史と成果</p> <p>～信州の公民館の視点から捉える～ 講義と対談</p> <p>名古屋大学名誉 教授 松田 武雄 生涯学習実践者 手塚 英男</p>	<p>改めて社会教育とは何か、社会教育の機能や新たに期待される役割とは何かを学び、社会教育の専門的な知識や技能の向上を図ります。また、新たに創設された「社会教育士」とは何か、社会教育士の活動する場はどこにあるかを学び、社会教育の持つ「力」をどう生かしていくかを考えていきます。</p>
R5-4	<p>(ゆるつな講座)</p> <p>都市デザイン・まちづくりを学ぶ</p> <p>～社会教育関係者にも知ってほしいこと～</p> <p>なぜ松本PARCOは撤退するのか？ 都市の魅力づくりとは？ 公共交通や輸送はどう変わるのか？</p> <p>都市計画家 倉澤 聡</p>	<p>なぜ松本PARCOは撤退するのか、都市の魅力づくりとは何か、公共交通や輸送はどう変わるのか、こうした暮らしと関わるテーマについて、都市計画の基礎から学びます。大きく変化していく社会を踏まえ、社会教育・公民館の地域づくりと都市デザイン・まちづくりをつなげて考える講座です。</p>
R5-5	<p>(地域の教育力向上研修)</p> <p>「発達障がいのある子の理解とかわり方①」</p> <p>長野県花田養護学校 教諭 胡桃 薫</p> <p>講演会 「アタッチメントの視点から考える発達障がいのある子どもの支援」</p>	<p>子育て、親育ち、親子の絆、あるいは子育て支援のあり方等について考え合う学習を進め、子どもや若者、家庭を支援するために地域の大人としてできることを考えます。今回は下諏訪町で開催し、子どもたちを取り巻く環境について理解するとともに、子どもの自立を育むため、同じ地域に住む大人としてどのように接していけばよいかなどについて学びます。</p>
R5-6	<p>(ゆるつな講座)</p> <p>「発達障がいのある子の理解とかわり方②」</p> <p>長野県花田養護学校 教諭 胡桃 薫</p> <p>講演会 「アタッチメントの視点から考える発達障がいのある子どもの支援」</p> <p>※本講座は、令和5年8月27日に下諏訪町総合文化センターで行われた『令和5年度地域の教育力向上研修「アタッチメントの視点から考える発達障がいのある子どもの支援」』(YouTube配信あり)の続きになります。アタッチメントの定義や概念については先の研修で扱ったので、今回は具体的な支援を中心に考えます。</p>	<p>子どもたちの特性や取り巻く環境について理解するとともに、子どもの自立を育むため、同じ地域に住む大人としてどのように接していけばよいか「アタッチメントの視点から考える発達障がいのある子どもの支援」について学びます。</p>

☆視聴は無料です。(DVDの場合返却時の送料のみ、利用者負担です)